

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ジーダット  
 コード番号 3841 URL <http://www.iemat.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月10日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 石橋 眞一  
 (氏名) 増山 雅美

TEL 03-5847-0312

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	694	△43.7	△51	—	6	△97.9	△4	—
21年3月期第2四半期	1,234	—	295	—	322	—	215	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△225.04	—
21年3月期第2四半期	11,237.28	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	2,817	2,407	85.4	125,368.34
21年3月期	2,826	2,447	86.6	127,482.06

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,407百万円 21年3月期 2,447百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	1,000.00	1,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,450	△30.1	△100	—	20	△92.4	0	△100.0	0.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 19,500株 21年3月期 19,500株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 300株 21年3月期 300株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 19,200株 21年3月期第2四半期 19,200株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成22年3月期の連結業績予想については、当社が現在入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は業況の変化等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4頁【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ・ 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、昨年秋以降の世界的な景況悪化により企業業績の低迷が続く、失業率が過去最悪を示すなど、景況は依然として厳しい状況が続いています。

当社企業グループの主要な顧客である国内半導体関連及び液晶関連の製造業も、中国政府の「家電下乡」施策や日本政府のエコポイント施策等により、直近では最悪期を脱した感がありますが、売上高は依然として前年を下回っており、また低価格化の流れもあって利益面では一層厳しい状況にあり、設備投資には予想以上に引き続き慎重であります。当社企業グループが扱うEDA製品はこの影響を直接に受けており、既存顧客の各種ライセンス契約の更新、新規受注とも当初の計画を下回りました。他方、好調な韓国企業や中国企業に対して、優位性の高い製品を中核とした設計フローの提案を積極的に推し進めておりますが、設計フローの改革を実現するというEDA事業特有の商談の足の長さから、国内の落ち込みを埋めるだけの短期的な成果をあげるまでに至っておりません。

当第2四半期連結累計期間の売上高は694百万円（前年同期比43.7%減）となり、営業損失は51百万円、経常利益は6百万円（前年同期比97.9%減）、四半期純損失は4百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 当第2四半期連結会計期間末の総資産、負債、純資産の概況

総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して9百万円減少し2,817百万円となりました。内訳としては、流動資産が7百万円減少し1,466百万円、固定資産が2百万円減少し1,350百万円となりました。流動資産が減少した主な要因は、現金及び預金が61百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が57百万円減少し、繰延税金資産が16百万円減少したことによるものであります。固定資産が減少した主な要因は、有形固定資産が11百万円増加し、繰延税金資産が22百万円増加しましたが、無形固定資産が4百万円減少し、敷金の回収・差入れによる差額などでその他が29百万円減少したことによるものであります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末と比較して31百万円増加し410百万円となりました。流動負債が減少した主な要因は、買掛金が12百万円減少し50百万円、未払法人税等が23百万円減少し5百万円、賞与引当金が29百万円減少し50百万円となりましたが、前受金が107百万円増加し247百万円となったことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して40百万円減少し2,407百万円となりました。純資産が減少した主な要因は、四半期純損失は4百万円となり、剰余金の配当38百万円によるものであります。また自己資本比率は前連結会計年度末の86.6%から85.4%となりました。

## (2) 当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ61百万円増加し、1,132百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下の通りであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同期比で321百万円（78.8%）減少し86百万円となりました。主な要因は、前受金の増加が107百万円、売上債権の減少が57百万円が計上された一方、税金等調整前四半期純損失が7百万円、賞与引当金の減少29百万円、仕入債務の減少12百万円、法人税等の支払額が25百万円あったこと等によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果回収した資金は、11百万円となりました（前年同期は、348百万円の支出）。主な要因は有形固定資産の取得が7百万円、事務所移転にともなう敷金の差入による支出が17百万円ありましたが、敷金の回収による収入が49百万円あったことによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同期と同額の38百万円となりました。これは配当金の支払によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降も景気回復の兆しは見えず、当社企業グループの主要な顧客である半導体関連及び液晶関連の製造業界は、依然として厳しい状況下にあることから、平成21年5月14日に公表しました平成22年3月期の連結業績予想を下方修正いたしております。

当連結会計年度の業績予想は、前回発表値と比較して、連結売上高は180百万円(11.0%)減少の1,450百万円、営業損失は102百万円減少の100百万円、経常利益は65百万円(76.5%)減少の20百万円、当期純利益は50百万円(100.0%)減少の0百万円を見込んでおります。

なお当資料に記載の業績見通しについては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業グループの事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合がありますことをご承知お祈いたします。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計処理基準に関する事項の変更)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

前第2四半期連結会計期間において流動負債の「その他」に含めておりました「前受金」は、第1四半期連結会計期間におきまして負債及び純資産の100分の10を超える金額となりましたので区分掲記しておりますが、当第2四半期連結会計期間におきましても継続して区分掲記しております。なお前第2四半期連結会計期間の「前受金」の金額は、259,471千円であります。

前第2四半期連結累計期間において「受取研究開発助成金」と表示しておりました勘定科目は、前連結会計年度末においてXBRL化に伴い「助成金収入」に変更していることから、当第2四半期連結累計期間では「助成金収入」に変更して表示しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年 9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,132,390	1,070,778
受取手形及び売掛金	240,709	298,703
たな卸資産	17,428	13,180
繰延税金資産	23,881	39,963
その他	55,196	54,821
貸倒引当金	△2,800	△3,400
流動資産合計	1,466,805	1,474,046
固定資産		
有形固定資産	32,677	21,063
無形固定資産	35,594	40,466
投資その他の資産		
長期貸付金	2,313	3,518
繰延税金資産	229,332	207,281
長期預金	1,000,000	1,000,000
その他	50,908	80,561
投資その他の資産合計	1,282,555	1,291,361
固定資産合計	1,350,827	1,352,891
資産合計	2,817,632	2,826,938
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	50,429	63,239
未払法人税等	5,820	28,900
賞与引当金	50,445	80,226
前受金	247,905	—
その他	55,958	206,915
流動負債合計	410,560	379,282
負債合計	410,560	379,282
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	760,007	760,007
資本剰余金	890,558	890,558
利益剰余金	788,826	831,547
自己株式	△32,676	△32,676
株主資本合計	2,406,714	2,449,435
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	357	△1,780
評価・換算差額等合計	357	△1,780
純資産合計	2,407,072	2,447,655
負債純資産合計	2,817,632	2,826,938

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	1,234,473	694,990
売上原価	325,249	230,376
売上総利益	909,223	464,613
販売費及び一般管理費		
役員報酬	20,800	21,690
給料及び手当	159,835	139,881
賞与引当金繰入額	47,875	25,413
研究開発費	214,335	194,100
その他	170,941	134,754
販売費及び一般管理費合計	613,787	515,838
営業利益又は営業損失(△)	295,436	△51,224
営業外収益		
受取利息	6,040	6,246
投資有価証券売却益	2,000	—
受取研究開発助成金	17,424	—
助成金収入	—	53,125
その他	2,072	677
営業外収益合計	27,537	60,049
営業外費用		
為替差損	452	1,966
営業外費用合計	452	1,966
経常利益	322,520	6,858
特別損失		
固定資産除却損	—	3,134
事務所移転費用	—	11,000
特別損失合計	—	14,134
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	322,520	△7,276
法人税、住民税及び事業税	120,051	3,014
法人税等調整額	△13,286	△5,969
法人税等合計	106,765	△2,955
四半期純利益又は四半期純損失(△)	215,755	△4,320

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	502,530	352,948
売上原価	161,086	118,683
売上総利益	341,444	234,264
販売費及び一般管理費		
役員報酬	11,850	10,845
給料及び手当	77,154	71,088
賞与引当金繰入額	21,898	11,897
研究開発費	139,135	101,072
その他	79,140	71,431
販売費及び一般管理費合計	329,179	266,334
営業利益又は営業損失(△)	12,265	△32,070
営業外収益		
受取利息	3,825	3,027
投資有価証券売却益	2,000	—
助成金収入	—	26,476
その他	1,596	174
営業外収益合計	7,422	29,678
営業外費用		
為替差損	1,005	—
営業外費用合計	1,005	—
経常利益又は経常損失(△)	18,682	△2,391
特別損失		
固定資産除却損	—	3,134
事務所移転費用	—	11,000
特別損失合計	—	14,134
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	18,682	△16,526
法人税、住民税及び事業税	26,279	397
法人税等調整額	△29,987	△7,803
法人税等合計	△3,708	△7,405
四半期純利益又は四半期純損失(△)	22,390	△9,120

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	322,520	△7,276
減価償却費	7,685	5,041
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,100	△600
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,325	△29,780
受取利息	△6,040	△6,246
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,000	—
固定資産除却損	—	3,134
移転費用	—	11,000
売上債権の増減額(△は増加)	78,894	57,993
たな卸資産の増減額(△は増加)	16,179	△4,248
仕入債務の増減額(△は減少)	△57,923	△12,810
前受金の増減額(△は減少)	148,212	107,137
その他	8,205	△18,933
小計	513,308	104,410
利息の受取額	6,808	7,496
法人税等の支払額	△111,989	△25,181
営業活動によるキャッシュ・フロー	408,127	86,725
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,892	△7,414
無形固定資産の取得による支出	△38,469	△645
投資有価証券の売却による収入	2,000	—
貸付金の回収による収入	1,169	1,187
敷金の差入による支出	—	△17,693
敷金の回収による収入	—	49,388
定期預金の預入による支出	△300,000	—
その他	△340	△13,674
投資活動によるキャッシュ・フロー	△348,532	11,148
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△38,400	△38,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,400	△38,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	△575	2,137
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	20,619	61,611
現金及び現金同等物の期首残高	1,348,367	1,070,778
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,368,987	1,132,390



(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)  
該当事項はありません。